



後悔しない子育てのために ～できることから少しずつ 校長 柳田 健一

日々の忙しさの中で当たり前になっていたことが、実は子供に悪影響を与えていたことに後から気付くことがあります。子供が成長して子育てが終わった親に「もっとこうしておけばよかった」と後悔したことを、科学的な研究を踏まえ「子育てが終わった親が後悔した5つのこと」としてまとめたものを紹介します。

今、子育て真っ最中の保護者の皆さんが、子育てにおいて将来、後悔するのを防ぐことができるかもしれません。子育てを終わられた方は、ご自分の子育てを振り返る機会になれば幸いです。

第5位 もっと甘えさせればよかった

小さいころ「抱っこして」と言われるたび、「もうお兄ちゃんでしょ」「今、忙しいからあとでね」と突き放してしまうことがあった。親としては「自立してほしい」「甘えすぎるとわがままになる」と思っていたけれど、大きくなった子供が素直に甘えることができなくなったのを見て、初めて後悔する親が多いようです。

心理学者ジョン・ボウルビーの愛着理論によると、幼少期に親から十分なスキンシップや愛情を受けた子供は、ストレスに強く、精神的に安定しやすい。逆に甘えを受け止めてもらえなかった子供は、大人になってから人間関係で不安を抱えやすいことが分かっています。

第4位 もっと話を聞いてあげればよかった

仕事や家事に追われ、子供が話しかけてきても、「ちょっと待ってね」「あとでね」と流してしまうことが多かった。スマホを見ながら適当に相槌を打っているうちに、いつの間にか子供はあまり話をしなくなったことに気付いて、後悔しています。

ハーバード大学の研究によると、幼少期に親がしっかり話を聞いてくれた子供は、自己肯定感が高くなり、コミュニケーション能力も向上する。逆に「どうせ話しても聞いてもらえない」と思った子供は、親との会話を減らし、思春期になると更に距離ができることが分かっています。

第3位 もっと叱らずに育てればよかった

忙しくて余裕がないとき、つい感情的に怒鳴ってしまったことがあった。「何度言ったら分かるの?」「いい加減にして!」と毎日のように怒るうちに、子供は怒られるのを避けることが最優先になり、自分の考えを言わなくなってしまったと気付いて、後悔しています。

カナダ心理学者エリザベス・ガーショフの研究では、怒鳴る・強く叱る・体罰を与える子育てを受けた子供は、不安傾向が強く、自己肯定感が低くなっていることが分かっています。特に、「怒られるからやめる」という行動パターンが身に付くと、自主的な判断力や問題解決能力が育ちにくくなります。

第2位 もっと子供の好きなことを応援してあげればよかった

将来のためにとピアノや英会話などの習い事を選ばせたけれど、結局子供は続かなかった。逆に「ゲームばかりしていても意味がない」とやめさせようとしたこともあった。でも、後から思えば子供の好きなことをもっと応援してあげればよかったと思うことがあったと後悔しています。

スタンフォード大学の研究によると、親の期待に応えようと育った子供は、大人になってから「自分の好きなことが分からない」と悩みやすく、その一方で、自分の意思で選んだことを応援されて育った子供は、自己肯定感が高く、人生に前向きになりやすいことが分かっています。

第1位 もっと一緒に遊んであげればよかった

仕事が忙しく、休日でも疲れて寝てばかりいた。子供が「遊ぼう」と言ってきても、「あとでね」と言い続けるうちに、気付けばもう親と遊びたがらなくなっていたと、後悔しています。

ハーバード大学の研究では、親と楽しい時間を過ごした子供ほど、大人になってから幸福度が高いことが分かっています。子供が「親と遊びたい」と思ってくれる時間は、短時間でもいいから、「あとで」ではなく、今を大事にすることが大切だったと、多くの親が後から気付きます。

子供は完璧な親を求めているわけではありません。「大好きだよ」「いつも頑張ってるね」と小さな愛情を伝え続けることが何より大切です。もし「間違えたかも」と思うことがあっても、今日からやり直せばいいだけです。子供は両親が自分のことを大切に思ってくれていることを、ちゃんと感じ取っています。安心して、自信をもって、子育てしていきましょう。

3月の主な行事

- 3月 3日(月) いじめのない学校づくりの日
- 4日(火) 3年生委員会活動参加
- 7日(金) コミュニティスクール感謝の集い
- 8日(土) 土曜授業
- 10日(月) 家庭学習強調週間～16日
歯みがきががんばるデー
- 11日(火) シェイクアウト訓練
- 14日(金) 命を大切にすることを育む日
- 18日(火) 卒業式予行
- 19日(水) 第3回幼保小連絡会
- 24日(月) 第78回卒業式
- 25日(火) 修了式 大掃除 離任式

水引トライアスロン

2月7日に実施予定でしたが、降雪の影響により2月10日に延期して実施しました。子供たちは、寒さを吹き飛ばすかのように、元気いっぱい競技に取り組みました。子供たちは、4月から一輪車の練習に取り組んでおり、全員一輪車に乗ることができ、練習を継続し、できるようになったことが自信になり、運動だけでなく、学習へもよい影響を与えています。保護者の皆様には、日程の変更等でご迷惑をおかけしました。また、寒い中、応援にお越しくださり、ありがとうございます。



4月の朝 校長手作りの補助具で練習する子供たち

いじめの認知

毎月のいじめアンケートや職員の子どもの様子の見取りから1月にいじめの認知が1件ありました。学校では、いじめの解消に向けて取り組んでおり、この事案が継続していないことを確認しています。ご家庭でも、お子さんのことで気になる点がございましたら、学校までご連絡ください。

おめでとうございます

令和7年度版「毎月23日は子どもといっしょに読書の日」ポスター原画コンクール(令和6年度)【入選】
1年 迫田 新太「本のくに」
4年 川野 遙羽「うれしい楽しい読み聞かせ」

鹿児島学力・学習状況調査

毎年1月に実施していた「鹿児島学習定着度調査」は、名称が「鹿児島学力・学習状況調査」に変わり、実施方法も、タブレット端末を使用(CBT方式)に変わりました。それに伴い、実施日も1月14日～24日の期間内で、学校が決められるようになりました。本校では、1月16日に国語科と理科を1月17日に社会科と算数科を5年生が受検しました。

CBT方式には、紙面での実施よりも、解答結果を早く確認でき、復習などを効率的に行える利点があります。現時点の結果は速報値のため、結果については次号でお知らせします。

6年生との交流給食

2月10日から14日の期間中、4回に渡り、6年生と校長先生との交流給食を実施しました。場所は校長室です。校長先生から、子供達へ事前にアンケートがあります。内容は、①6年間を振り返っての思い出、②中学校でがんばりたいこと、③将来の夢、④校長先生に聞いてみたいことです。このアンケートを基に、校長先生は、児童一人一人に宛てた手紙と名札を準備してもてなします。毎回、校長室から笑い声が溢れ、楽しい時間になっていました。子供たちは、「緊張したけど、校長先生とたくさん話ができて嬉しかった。」「校長先生への質問に対して、面白おかしく答えてもらえて嬉しかった。」と感想を述べていました。卒業を前にした6年生にとって貴重な時間となりました。このような取組も、小規模校のよさの1つではないかと考えます。

